

令和7年度 みのりこども園自己評価（一年の振り返り）

評価：A たいへんよい、B:よい、C：一部検討を要する、D：改善を要する

	内容	評価	意見・改善策
教育・保育理念	1 園の理念・方針、教育・保育目標を理解し、日常の教育・保育に反映しているか	B	○各職員の子どもへの考え方、接し方、取り組み方に対し、基本的な共通認識を持ち、目標に向かってよりよいものにできる可能性がまだまだある。
	2 園の理念・方針、教育・保育目標に基づいて、日常の教育・保育を行っていることに利用者が理解できるよう周知しているか	B	
	3 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか	C	
教育・保育の計画	1 社会状況の変化やこれまでの課題を踏まえて教育課程の見直しを行っているか	A	○こども園全体の職員連携に対してはまだまだと感ずるため、これからさらに連携を深めるよう努める。 ○長期的な連続性を考え、常に振り返りを行い、子どもたちにとっていい教育・保育を常に考えた。
	2 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から終了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか	A	
	3 子どもの興味・関心や意欲に合わせて活動が展開できるように職員間で振り返り、月・週の目標のねらいを設定しているか	B	
	4 子どもたちの園生活の中で『10の姿』を参考に、子ども一人一人に対し、計画しているか	A	
	5 行事は子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	A	
子どもの発達援助	1 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間に共有されているか	A	○職員は、子ども一人一人を受容し、いろんな意識を高めないといけない部分もあるが、おおむね子ども一人一人に向き合うことができた。 ○給食をとおして、子どもたちにいろいろな食材を提供でき、興味や美味しさを感じてもらうことができた。
	2 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるようにしているか	A	
	3 子どもに相応しい食生活が展開されるように給食について見直しや改善を行っているか	A	
	4 子どもが給食を楽しむことによって食を楽しめるよう工夫をしているか	A	
	5 子どもが主体的に活動できるような、人格・物的環境が整備されているか	B	
	6 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか	A	
	7 子どもを指導する場面では、感情的にならず、心を落ち着かせて行われたか	A	
	8 子ども一人一人に応じた発達の特徴を把握し、活動を展開できたか	A	
	9 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか	A	

	10	支援を要する子どもに対して、個別の指導計画をもとに、一人一人にあわせた支援・援助することができたか	A	
	11	子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、状況に応じた工夫が行われているか	A	
	12	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか	A	
保護者に対する支援	1	子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者との共通の理解を得るための機会を設けたか	A	○一緒に子育てを楽しむことを基礎とし、保護者との会話や悩みを積極的に聞くことができた。 ○保護者懇談、参観など計画的にすることができた。また、保護者からの懇談の申し出などに対応できた。
	2	保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけているか	A	
	3	虐待に対応できる園内の体制（市、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	A	
	4	地域の子育ての拠点として『園庭開放』『交流の場の提供』『相談・援助』『情報の提供』の支援を行うよう努めているか	A	
教育保育を支える組織的基盤	1	感染症やその他の疫病の発生予防に努め、職員が感染拡大を最小限に食い止める努力をしているか	B	○職員の研修について、様々な社内、社外研修を行うことができた。 ○避難訓練など計画的にすることができた。 ○職員の子どもに対する連続性や連携については、まだまだ改善するところがあるため、これからも力を入れていく。
	2	体調不良、アレルギー疾患などをもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	A	
	3	避難訓練・安全点検・不審者訓練など、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	A	
	4	職種や国籍などが異なってもそれぞれの特性を尊重し支え合うことに努めているか	A	
	5	職員が研修など、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか	A	
	6	職員は自分の意見と違う時も相手の意見を受け止め協力しようとしているか	B	
	7	保護者や子どもの個人情報漏洩や滅却がないよう適切に管理しているか	B	
	8	苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか	A	
	9	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか	A	
	10	職員が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか	B	
	11	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか	B	